

## 利尻島および礼文島の等脚目甲殻類

布村 昇<sup>1)</sup>・石井 清<sup>2)</sup>・佐藤雅彦<sup>3)</sup>・宮本誠一郎<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup> 〒 939-8084 富山県富山市西中野町 1 丁目 8-31 富山市科学博物館

<sup>2)</sup> 〒 321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880 獨協医科大学国際教育研究施設医学基盤教育センター

<sup>3)</sup> 〒 097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 利尻町立博物館

<sup>4)</sup> 〒 097-1201 北海道礼文郡礼文町香深入舟 レブンクル自然館

## Terrestrial Isopod Crustaceans in Rishiri and Rebun Islands, Northern Japan

Noboru NUNOMURA<sup>1)</sup>, Kiyoshi ISHII<sup>2)</sup>, Masahiko SATO<sup>3)</sup> and Seiichiro MIYAMOTO<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup>Toyama Science Museum, 1-8-31, Nishinakano-machi, Toyama, 939-8084 Japan

<sup>2)</sup>Institute of International Education and Research, Dokkyo Medical University, Mibu, Tochigi, 321-0293 Japan

<sup>3)</sup>Rishiri Town Museum, Senhoushi, Rishiri, Hokkaido, 097-0311 Japan

<sup>4)</sup>The natural Rebuncle, Kafuka-irifune, Rebun, Hokkaido, 097-1201 Japan

**Abstract.** Hitherto, several surveys on terrestrial isopod crustaceans have been carried out in Rishiri and Rebun Islands by some scientists, but they had treated to only limited areas of the islands. Therefore, we are planning to carry out a series of surveys of many environments of the two islands as possible. As the first step of the above-mentioned study, we will preliminarily report the results at a representative station of each island. We recorded three species. Among them, *Ligidium (Nipponoligidium) japonicum* and *Porcellio scaber* are dominant species, and *Haplophthalmus danicus* is considered to be a newly distributed one in the islands in comparatively recent days.

利尻島と礼文島は北海道北西部の海洋上に位置している。両島の等脚目甲殻類については前原ほか(2003), 布村(2004), 寺田(1992, 1994)により報告されている。しかし, その調査対象地域は各島の一部で行われたものであり, 各島の等脚類相の全容を明らかにするために広汎な調査が求められる。そこで, その目的を達成する第一歩として, 今回は利尻島仙法志(標高 25m) および礼文島香深入(標高 20m) のエゾマツ・トドマツ林に生息する等脚目甲殻類相の調査を行った。その結果, これらの調査地から 3 科 3 属 3 種の生息が確認されたのでここに報告する。なお, 採集された標本類は利尻町立博物館および富山市科学博物館に保管される。

### 調査概要

調査は, それぞれの島において 2007 年に 3 回(利尻島: 5 月 31 日, 7 月 25 日, 7 月 31 日, 9 月 28 日; 礼文島: 5 月 31 日, 6 月 27 日, 9 月 18 日) 行った。両島の調査地のおもな植生はエゾマツ, トドマツ, ダケカンバ, ミズナラ, カラマツ, ナナカマド, クマイザサ, マイヅルソウ, ザゼンソウ, オオツリバナである。等脚目甲殻類の採集は, 現地での肉眼採集は行わず全てツルグレン抽出法によった。ツルグレン抽出用の土壌サンプルは, 調査日に現地に入って園芸用シャベルを用いて適量採取し, それらを紙袋にいれて獨協医科大学まで搬送した。その後直ちにツルグレン抽出装置にかけて 7 日間抽

出し、双眼実体顕微鏡下で等脚目甲殻類を選別して採集した。なお、現地での土壌サンプルは佐藤雅彦と宮本誠一郎、ツルグレン抽出と等脚目甲殻類の選別・採集は石井清、種の同定と個体数の算定は布村昇が行った。

#### 利尻島仙法志および礼文島香深井産等脚目甲殻類目録

Family Ligiidae: フナムシ科

#### *Ligidium (Nipponoligidium) japonicum* Verhoeff, 1918

ニホンヒメフナムシ(ヒメフナムシ, ヤマフナムシ)

利尻島仙法志(海拔 25m): 2007 年 5 月 31 日, 99 個体; 同年 7 月 25 日, 3 個体; 同年 7 月 31 日, 334 個体; 同年 9 月 28 日, 159 個体。

礼文島香深井(海拔 20m): 2007 年 5 月 31 日, 21 個体; 同年 6 月 27 日, 11 個体; 同年 9 月 18 日, 10 個体。

Family Trichoniscidae: ナガラジウムシ科

#### *Haplophthalmus danicus* Budde-Lund, 1879

ナガラジウムシ

利尻島仙法志(海拔 25m): 2007 年 5 月 31 日, 65 個体; 同年 7 月 31 日, 71 個体; 同年 9 月 28 日, 12 個体。

礼文島香深井(海拔 20m): 2007 年 5 月 31 日, 22 個体。

Family Porcellionidae: ワラジウムシ科

#### *Porcellio scaber* Latreille, 1804

ワラジウムシ

利尻島仙法志(海拔 25m): 2007 年 5 月 31 日, 51 個体; 同年 7 月 25 日, 8 個体; 同年 7 月 31 日, 50 個体; 同年 9 月 28 日, 24 個体。

礼文島香深井(海拔 20m): 2007 年 5 月 31 日, 22 個体。

#### 結果および考察

利尻島と礼文島の調査地にはニホンヒメフナムシ, ナガラジウムシ, ワラジウムシの 3 種が生息していた。このうち、在来種はニホンヒメフナムシのみであり、ナガラジウムシとワラジウムシは外来種と考えられる。特にナガラジウムシは、日本における分布の拡大が著しいこと、布村(2004)らの過去の調査報告にも記録されていないことから両島には近年侵入した可能性が示唆される。

#### 参考文献

- 前原 忠・萩原康夫・石井 清・伊藤良作・黒住耐二・坂寄 廣・菅波洋平・田村浩志・茅根重夫・中村修美・直海俊一郎・布村 昇・萩野康則・宮田俊晴・石橋整司, 2003. 利尻島の土壌動物。利尻研究, (22): 55-72.
- 布村 昇, 2004. 利尻島およびその周辺の等脚目甲殻類。利尻研究, (23): 19-23.
- 寺田美奈子, 1992. 利尻島における陸産等脚目の分布の概観。利尻研究, (11): 27-30.
- 寺田美奈子, 1993. 礼文島における陸産等脚目の分布の概観。利尻研究, (12): 49-51.